

研究の概要と今年度の研究

平成27年4月14日（火）

石中社研究員 飯田 浩貴

（千歳市立千歳中学校）

I. 研究主題

未来をきり拓く力をつけた子どもの育成

～論理的に思考したことを適切に表現する授業を通して～

II. 研究仮説

習得した知識や概念を基に、個や集団によって論理的思考力を高め、表現されたものを適切に評価する授業を展開することで、主体性や表現力・コミュニケーション能力などの未来をきり拓く力を育成することができる。

III. 今年度の研究について

2年次 思考したことを基に適切に表現する授業の展開

今年度の石中社部会員 全員の取り組みとして…

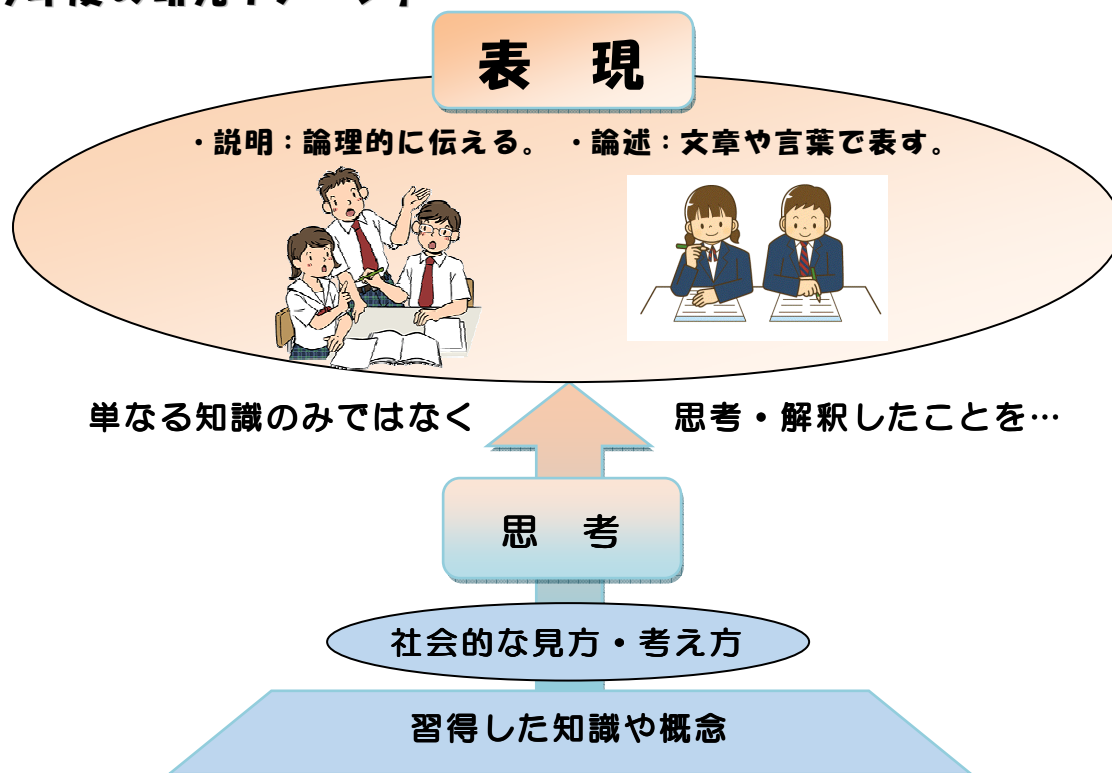
- ①「社会的な見方や考え方に基づく思考を表現する活動」を盛り込んだ授業を実践。
～どの分野（学習単元・題材）で、どのような授業を展開するか…
- ②第二次研究協議会時（10月16日）に、実践例をまとめたレポートの交流をする。
～提出レポートは、昨年度と同様に指導案形式にはこだわりません。

= 第二次研究協議会の授業について =

今年度の第二次研究協議会は、石狩市で開催されます。ここで公開する授業についても、部会員の活動と同様に、「表現力を高める活動」を盛り込んだ授業の公開をお願いします。

指導案の形式については、6月までにHPにて提示させていただきます。

【今年度の研究イメージ】



社会科における『表現力』を「課題解決の過程や結果を、言語などで他者に正確に伝わるように表現する力」だとすると、その表現方法には様々なものが存在します。上記イメージはモデルであり、表現方法も一例です。昨年度、プロジェクト研究員が、いくつかの授業デザインを含めて試案を立案していますので、後日HPに掲載いたします。こちらも是非、ご活用ください。

なお、今年度の研究は、昨年度の研究成果を踏まえたものになっています。したがって、「社会的な見方や考え方に基づく思考」と結びついた「表現」であるという点を外さないようにお願いします。

研究計画の詳細については、『石教研』（2014. 3. 6 No. 366）の「社会（中）部会研究計画」（19～22 ページ）をご覧ください。

また、石中社ホームページでも、様々な情報を提供してまいりますので、是非ご活用ください。

石中社 (<http://www.sekikyoken.com/bukaiHP/s04/s04index.htm>)

一年間、宜しくお願いします！